

男子合格者

高校
阿
倍
野
新
聞

発行所
大阪市阿倍野区阪南
町一丁目30番34号
大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任者 川崎 真
吐田政弘

詩
道程
僕の前に道はない
僕の後には道は出来る
ああ 自然よ
父よ
僕を一人立ちにさせた

僕から目を離さないで
守ることをせよ
常に父の気魄を僕に
充せよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため

高村光太郎

先生の言葉

学校長	い感情の起伏を味わい驚く ことがたび重なることと思 う。これは諸君が、人生の 重要な発達段階である自己 形成という営みと正面から 取り組んでいる証しなので ある。こうして各自のもの 能力は段々と具体的な形を 整えつつ急伸展し、自己の 存在を明らかにすべき情念 が深まりつつ高まっていく のである。たゆまぬ錬磨 より為し遂げられる能力 備えていることを忘れて ならない。とはいえ、自 らの充実、向上と社会生活 それらとは人生の表裏では るといえる。学園生活は 互いに高め、充実し、豊 にしようという信頼に結 れた、清純な若き漲る君 の姿である。これが本校
三宅孝明	願うことが、努力により 叶えられたところ、特に 人生のワンステップを登り おのずから湧く感興は、ま た格別であらう。私はいま 生氣溢れる諸君を迎え、清 新の情をひとしお深く覚え ている。さて、諸君はこう した喜びや悲しみ等の厳し が深まりつつ高まっていく

この一年

ある文化祭があります。中
旬には二年生の修学旅行。
先輩に饅頭をお忘れなく。
そして下旬には中間テスト
があります。

以上はここ2、3年の
年中行事であり、今年
は変更があるかも知れ
ません。

だと思ひます。どんな難関が横たわろうとも真向うから取り組んで解決しましょう。必ず道は開けて来るでしょう。

「という言葉で表わした
する、そういう状況の中
も、危機に陥った友を思
行動する若々しいキラメ
を垣間見ることがあった」

このため、今回は編集時の現在でわかっている先生方の言葉のみを掲載させていただきます。

絶対にとれをとことんや
てやるんだ。」ということ
見つけて、それに打ち込
るようになって欲しい▼
石の上にも三年』という

部
説

入学おめでとう。君達
は高校入試という壁を、
中学三年間で築きあげた土
台によってよじ登るこ
とができた。そして今、
その壁の頂上に立って高

学の進学率が悪い、と言われるが、勉強するのは阿倍高ではなく、君達自身なのだから、そんなことで悔んでいるのは本末転倒であろう。

らないだろうし、性格までも変わってくることだろう。はじめのうちはクラスに知ってる人はあまりいない。その知らない人々と一日も早く友達になれるよう努力しよう。

これを打破するために
クラス単位で、その中で
みんなが結束を固めて自
治会に活発さと盛大さを
取り戻すようにしなければ
ならない。さもないと
阿倍高はいつまでも足ぶ

手になる。あるいは成功
きるのである▼又、もし
敗したとしても、頑張っ
続けてきたということはいへん意義がある。どんな場合でも負け犬にだけはな
って欲しくないものだ。

高校生第一步

しかし今
度はその壁の中へはいら
なければならぬ。そう
高校に溶け込んでゆく。その
だ。その前に、ここで少し
勉強や交友、阿倍高の現
状などについて述べてみ
ようと思う。

まず、勉強だが、これ
は中学のときよりずっと
難しい。加えて進度が速

友達づきあいのことである。友達といっても遊び友だちだけというのは、よくない。やはり、真の友達、親友が必要である困った時、悩んでいる時気軽にそれを打ち明けることができる、なおかつ親身になって相談のしてくれるような友である。

そうすれば、案外簡単に親友も見つかるかも知れない。

最後に、阿倍高の現状について少し触れておきたい。阿倍高生は、自治会活動にかなり無関心である。他の事にも無気力で俗に言う三無主義（無気力、無関心、無責任）

高校生活にはいるにあたって重要なところをいくつか書いてきたわけだが、その中で友人関係に最も重点をおいたのは、高校生活の最初がまず友達をつくることであるからだ。そして、高校生活の第一歩が始まるのである。

三樹の行をてある▼
の太い柱を作ることに
て、基盤ができ、より大
く成長していくのだ▼こ
三年間、どのように過ご
かは、君達の自由だ。し
し、一日一日を無駄にし
いで有意義にエンジョイ
てもらいたい。

*

*

針

新入生の皆さん御入学
めでとう。合格発表の日
インタビューをしたとこ
「ただうれいの一言で
実感感がわきません」と
人が多かったが、今は

かな？▼おそろく、今
んなの心の中は、新しい
のに対する期待と不安で
杯のことだろう。高校生

どう過ごそうかと楽し
にしている人もいると思
うのだが、果してどのよう

したる三年間を有意義に
 することが出来るか、そ
 は、現在の君達にとって

な問題である▼クラブ
入部して頑張る。大学受
を目標に勉強する。ある

は、かわいいGF・カツ
イBFを見つけるのも
だろう。一人一人思う

とが違ふのは、あたりま
のことである▼しかし、
もいいから一つ「オレ

絶対にとれをとことんや
やるんだ。」ということ
死つけて、それに打ち込

るようになって欲しい▼
石の上にも三年』という
とわざがあるように、い

と辛いことがあろうと、
と辛抱して、それを乗
越えることができてこそ

手になる。あるいは成功
さるのである▼又、もし
敗したとしても、頑張っ

統けてきたということは
 いへん意義がある。どん
 場合でも負け犬にだけは

て欲しくないものだ。
校生ともなれば、自分の
場をよく考え、責任を持

で行動しなければならな
速中で逃げ出すなどは、
子供の行為である▼一

の太い柱を作ることによ
て、基盤ができ、より大
く成長していくのだ▼こ

二年間、どのように過
かたは、君達の自由だ。し
し、一日一日を無駄にし

いでも有意義にエンジョイ
してもらいたい。

*

合格者人数一覧

私立大学

昨年度の卒業生の合格した私立大学は次のとおり。数字は現役合格者のみである。なお、国公立は途中経過のため、今回は割愛した。

▽私立△	五〇
関西大	一八
関西学院大	一〇
立命館大	一〇
同志社大	四
関西外大	八
京都外大	一〇
京都産業大	六
大阪経大	一五
天理大	四
甲南大	一〇
龍谷大	六
桃山大	三
創価大	二
追手門学院大	一
大阪産業大	一
大阪体育大	一
大阪芸術大	一
近畿大	二
大阪薬大	一
京都薬大	一
大阪工大	一
大阪音大	一
大阪学院	一
神戸学院	一

本校の教育課程

原級留置
(週一時間の授業を一年間修めると一単位になる。だるな過程から週五時間の科目では五単位になる。)をとり、入学後、君達一年生は34単位が定められている。早く言えば、この単位が一つでも不足した場合、原級留置になる。この場合、具体的に説明すると、①出席日数が足りないとき、②授業中の態度が余りに悪いとき、③定期試験の欠点(教科担当の先生とを少し知っておいてもらいたい。阿倍高は単位制)

人間不信 (寄稿)
みんないい人達なのだ、どんなに悪くても根はいい人達なのだ。私は思っている。人間という動物は人間性を持つが故に人間なのである。そして、地球上でいちばん汚い動物も人間である。どんなに醜い生物でも、人間よりは遙かに美しいのだ。人間はそのことの認識すらないように思える。

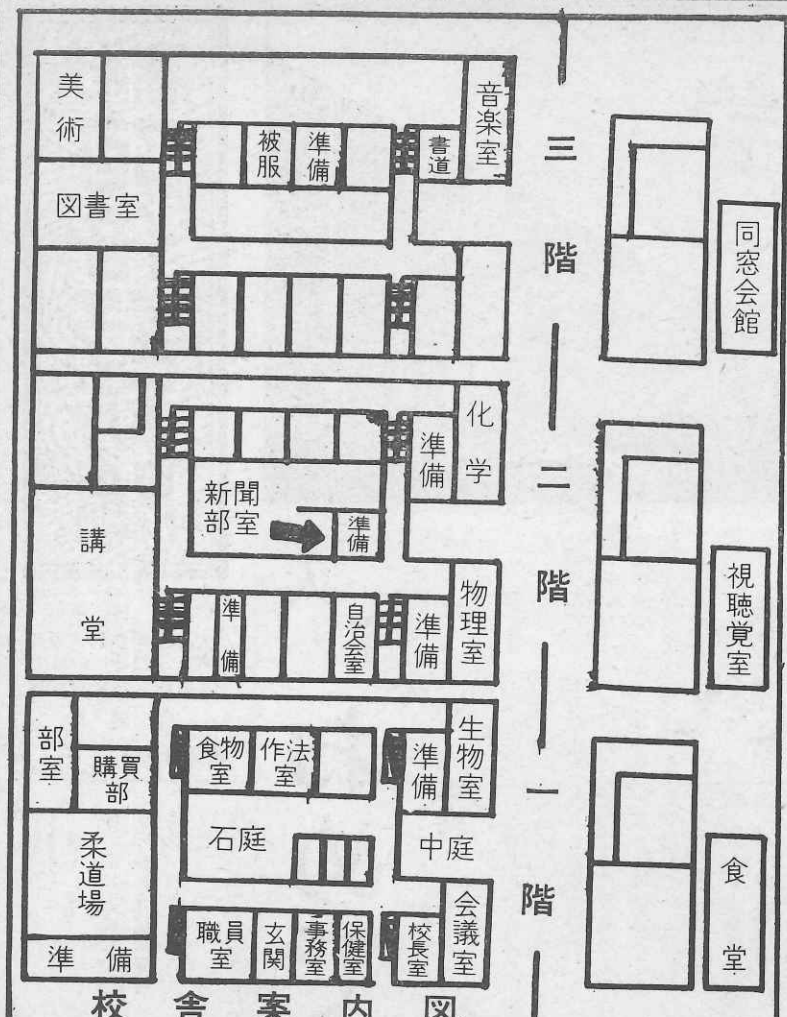
シンボルとしているのも、人間が、自分をきれいだと称したり、賛辞したりするのは、ナルシズムにすぎない。そんなことを言えば、他の動物たちが黙ってはいない。地球上に住んでいる人達なのだ。人間だけではない人間という動物は人間性である。

おこしやす
みなさんは、この阿倍高に入学した今、やりたいと思っていることがたくさんあると思う。たとえばクラブ、恋愛、勉強、など。でもなかなか、全部実行するということは、絶対に無理なことだと思える。むずかしいことだと思える。

文化部長 川口
ESS 2-8
映画研究部 2-11 伊藤
演劇部 3-5 水谷
音楽部 2-2 山下
華道部 2-1 安井
軽音楽部エレキ班 2-7 品田
軽音楽部フォーク班 2-3 清水
茶道部 2-7 辰巳
写真部 伊藤
宗教研究部 数下
生物部 2-6 宗本
煎茶部 数野
地理研究部 2-7 坂本
点字部 2-8 米田
美術部 2-8 藤井
歴史研究部 伊藤
バスバンド部

運動部長 増田
放送部 2-6 西野
新聞部 2-6 吐田
剣道部 2-5 松本
硬式テニス部 2-5 赤土
軟式テニス部 2-3 藤井
サッカー部 門田
登山部 松原
柔道部 2-3 高上馬
男子バレーボール部 3-1 江淵
女子バレーボール部 前田
男子バスケットボール部 3-3 柏原
女子バスケットボール部 園田
水泳部 川村
体操部 2-2 小林
卓球部 2-1 金山
ラグビー部 3-2 加島
陸上部 3-3 湯本

ワンダーフォーゲル部 酒井
野球部 越久
ハンドボール部 早川
以下休部中のクラブ
ハーモニカ部
文学部
洋舞部
珠算部
図書部
社会研究部
以下愛好会
空手道愛好会 2-2 津田
将棋愛好会 2-1 池田
女子ハンドボール愛好会 2-7 池川



校舎案内図
美術 図書室 音楽室 三階
被服 準備 書道
化学 二階
新聞部 準備 物理室 準備
講堂 準備 生物室 準備
部室 購買部 柔道場 準備
食物室 作法室 中庭 会議室
石庭 職員室 女関 事務室 保健室 校長室
食堂

今、直接君達に課せられる選択は芸術選択のみである。これは、音楽・書道・美術の中から一科目を選ぶものだ。なお、この選択は一年間の変更はできないが、二年生になるときに再び直すことができる。その他、今の諸君には、直接には関係のない選択ではあるが、三年生になってからの進路関係上からの科目の選択がある。

今、直接君達に課せられる選択は芸術選択のみである。これは、音楽・書道・美術の中から一科目を選ぶものだ。なお、この選択は一年間の変更はできないが、二年生になるときに再び直すことができる。その他、今の諸君には、直接には関係のない選択ではあるが、三年生になってからの進路関係上からの科目の選択がある。

一つの意見になってしまふが、クラブ活動が君の高校生活にとって、必ずしもプラスともマイナスとも言えない。それは人によってまちまちである。だが、良いクラブ、イコール楽しい学校生活というのは結びつく。良いクラブを見つけたら、それは、やはり入ってみなければわからない。勇気を出して飛びこえよう。そして、その時点で自分に合わないと感じたら変な義理は捨ててさっさとやめることだ。それから、また試してみること。健闘を祈る。